

活動実施報告書（ 6 年度）

名称：社会福祉法人 わかくさ保育園

取組内容

エコを知ろう

1期「ものの大切さを知ろう」

日常の中で気づいたことがある

2期「食の大切さをしよう」

災害時の食事について話し合う

3期「命の大切さを知ろう」

海の生き物を調べる中でごみ問題を知る

4期「自然の不思議さを知ろう」

一年を通して空を見上げ雲を観察した

取組結果・感想等

○形あるものは、壊れるが、修理して使えるし、工夫して、再利用もできる

○災害時の水の脅威と水の有難さを学んだ
防災頭巾や非常持ち出し袋を知り、自分たちにできることは何かを話し合った

○食育で命の輪廻の話を聞き、命を大切に

いただきますを心から思って残さず食べることを皆で話し合った

○空を見上げ、夏には入道雲、秋には羊雲など一年を通して楽しめた。水蒸気が空高くの冷たい空気にぶつかって雲になる仕組みを学んだ。温暖化で氷河が溶けて地面が水没している国がある海の生き物にも影響があることを知った
◎私たちにできることをもっと深めていきたい

活動の様子（写真等）



自然事象雲の観察



食育活動



海の生き物



災害についての話を聞く

1年間取り組んだ感想・ご意見

◎日常の中で子どもたちは、気づいたことがあった。形ある物は壊れる。大切に扱うことと修理してまた使えるようになること。なぜ壊れたのかを皆で考え、使い方のルールを話し合った。また、違うものに再利用できることにも気づいた。再利用できないものもあり、ごみが増える原因にも気づいた。

◎避難訓練を行った際に、災害時の食事について話し合った。災害のニュースや避難している人の気持ちを考えたりする機会となった。

◎海の生き物がどのように生活しているのか図鑑で調べたり、生態に興味をもち、今年も水族館に出かけた。保育室で、小さな生き物を育てたり、エサは何を食べるのか調べた。園で飼っている金魚が死んでしまい、皆でお墓を作った。

◎一年を通して空を見上げる活動を行った。水蒸気が空高くの冷たい空気に触れて雨となって落ちてくる事や冬の寒い日には、雪が降り、雪だるまを作って遊んだ。温暖化で氷河が溶けて、地面が水没している国があることや海の生き物が絶滅していくことも学んだ。

◎私たちにできることは何かを皆で考える機会が多かった。次は具体的に実践していきたい。